

財務次官のセクハラ問題に胡乱なものを感じるのは小生のみだろうか？マスコミ、特に当事者たる朝日新聞とそれに便乗した立民等の野党は財務大臣の辞任まで要求していて、森・加計、日報問題まで絡めて審議拒否の暴挙に出ている。幾つかの所見を述べたい。

- ① 真相究明は必要だ。その実施要領に難癖を何故つける？財務省の顧問弁護士事務所は、最適任ではないとしても、拒否姿勢は異常だ。
- ② 朝日新聞は自社の不手際を徒に矮小化しようとしていないか？
- ③ 飲食を伴う会合を頻繁に行っていたとの報もあるが、1対1の会合を何回も行うのはやはり異常だと感じるのだが・・・
- ④ 発言内容は、編集されているとの報もあるが、事実関係如何？であるとすれば、その録音自体の信憑性にも疑問あり。
- ⑤ 記者クラブの会員、記者としては、可笑しな面多々あり。オフレコを何故に公開する。何故に他社に録音内容を提供する。記者としては行ってはいけないことではないのか？
- ⑥ 正常なる取材活動と云えるのか、甚だ疑問である。
- ⑦ セクハラもしくはセクハラ紛いのことがあったならば、告訴すべきではないのか？
- ⑧ 次官は官僚のトップだ。何と脇の甘いことだろう。驚くばかりだ。足を引っ張られることもあると何故思わぬ。己の身を律することも弁えぬのならば、トップの資格はない。
- ⑨ セクハラと報じられること自体が身の恥だとの認識がないのだろうか？そういう面では麻生さんの見る目がなかったとも言えるが・・・
- ⑩ 週刊誌記載の発言内容は品性下劣だと思うが、何度も飲食している間柄ではあり得るのかも知れぬ。品性下劣な酔っ払いの戯言と聞き逃せなかったのだろうか。若しくは、それを狙っていた？
- ⑪ 疑われ、抗議を受けたという事実だけで、己の恥と思料して辞任するのが、男だとは思いますが、濡れ衣であれば晴らすべきだろう。
- ⑫ 朝日新聞は、女性記者からセクハラを受けたとの報告があった時点で、配置換えをも考慮すべきだったのではないかとも思うが・・・危機対応意識が低すぎる。或いは早い段階で抗議すべきだった筈だが、何故にそのような対応をしなかったのか？
- ⑬ 次官は何故弁明しない。己に疚しいところなくば、正々堂々と弁明すべきではないのか？誤解を与え、不快な思いをさせたのは事実なのだから少なくともそのことに関しては謝罪すべきだろう。逃げていると思われるのは危機管理としては最悪だ。
- ⑭ 双方の人間関係の程度により、セクハラにもなり、そうでもないケースもある筈だ。何度も飲みに行っているようだが、二人の関係はどのようなものだったのか？
- ⑮ 夜討ち・朝駆けでの取材は聞くが、飲みながらの取材は通常はないのではないか？飲みながらの取材、それは取材ではなく、懇親であり、取材の背景となり得る筈のものである。
- ⑯ 記者との会合を全く否定するものではないが、そこには自ずと則がある筈だし、少なくとも個人対個人で行うものではなかろう。